

令和3年度

事業報告書

令和3年 4月 1日から

令和4年 3月31日まで

公益社団法人 全国食肉学校

事業報告

I. 事業概要

1. 事業重点実施事項

(1) 教育訓練事業

今年度は新型コロナ第3波の影響等で入学生が例年より少なく、36名（総合養成科23名（1年コース17名、前期コース6名）、食肉販売科13名）が卒業しました。基本的な感染対策を講じ、必要に応じてオンライン授業を取り入れるなどして、国内食肉研修旅行を含めほぼ例年どおりの教育訓練を行うことができました。

- ① 校内衛生環境の確立としては、ロスナイ換気（熱交換換気システム）、オゾン噴霧、長期休暇明けのPCR検査、希望者全員のワクチン接種、第6波では毎週の抗原検査など、新型コロナウイルス対策を徹底しました。
- ② 学科・技術指導内容については、和牛輸出、ジビエなど食肉業界の最近の動きに関する授業や学生が希望する内容を取り入れ、レベル向上を図りました。
- ③ 個別指導については、学生の体調、個性、性格、能力、習得状況に応じてきめ細やかに行き、部分肉製造1級・2級の資格取得や就職に結びつけました。
- ④ 実践教育の充実については、学生の希望・進路に合わせた校外実習先を選定し、実習中も定期的に巡回することでフォローアップに努めました。
- ⑤ 基本的な生活習慣については、寮監を中心に粘り強く指導し、新たに德育講座を設けて人格教育を行いました。

(2) 教育研修事業

昨年度新型コロナの影響を大きく受けた教育研修事業ですが、今年度は諸対策を講じて可能な限り実施するよう努めました。特に企業提携研修については、昨年を大きく上回る実績を上げることができました。

- ① FMAセミナー（本校主催研修会）は、人気の基礎セミナーを2回実施し、座学はオンラインを併用するなど、置かれた状況に臨機応変に対応しました。総実施回数20回、総定員数400名に対して189名の受講生数で、受講率は47.2%（計画80%、前年度40.0%）でした。
- ② 企業提携研修は48法人と107回開催しました（前年度28法人70回）。大手メーカー、大手生協などと新規にセミナーを実施しました。
- ③ 和食文化及び和牛の普及研修については、日本食肉協議会と動画配信用ビデオを作成しましたが、出入国が制限されていたため、海外及び招聘セミナーはありませんでした。

- ④ 生産性向上支援訓練はポリテクセンター群馬と連携して数多く実施しました。また、全国のポリテクセンターに登録することにより、新規に鹿児島県から講師派遣依頼があり、現地で研修を実施しました。
 - ⑤ 国連工業開発機関 UNIDO と締結した「パキスタン KP 州ペシャワール近郊の畜産職業訓練学校 AHITI の牛肉コース開設とカリキュラム作成に協力する」契約に基づき、テキスト、写真、ビデオの作成・提供を実施しました。
 - ⑥ 高校生の「ものづくりマイスター事業」については、群馬県職業能力開発協会と連携して県内 7 高校と 10 回、約 200 名のセミナーを実施しました。
 - ⑦ JA全農主催の第 5 回和牛甲子園 (ZOOM 開催) に後援し、審査員を務めるとともに賞状・副賞 (ベーコン等) を提供しました。
 - ⑧ 高崎健康福祉大学農学部 3 年生の加工品製造実習を新規で実施しました。
 - ⑨ 第 14 回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会 (ZOOM 開催) の食肉産業セミナー分科会に講師として参加し、食肉産業を目指す大学生に本校の取り組みなどを紹介し、現状と課題について議論しました。
 - ⑩ 群馬県立女子大学の「持続可能な社会に向けてーSDGs リレー講座ー」の講師として登壇しました。
 - ⑪ 東洋大学の「牛肉の部位特性に応じた物性評価技術の検討」論文の作成と第 67 回国際食肉科学技術会議への提出に協力しました。
 - ⑫ 日本畜産学会 (オンライン実施) で「畜産物の国際需給と畜産の近未来」と題するパラレルシンポジウムにパネリストの一人として出席し「国内外での食肉産業の人材育成」について講演を行いました。
 - ⑬ 消費者向けセミナーについては、玉村町住民活動サポートセンター (ぱる) と連携した「1129 の日セミナー」を継続実施しました。
 - ⑭ 小中学生向け食育セミナーについては、玉村町住民活動サポートセンターと連携して「肉の食育体験」を継続実施しました。
 - ⑮ 日本ジビエ振興協会の「国産ジビエ取扱資格検討会」委員として参画しました。
 - ⑯ 一般財団法人食品産業センターの依頼を受けて、飲食料品製造業特定技能 1 号試験問題策定委員として参画しました。
 - ⑰ 国家資格であるハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の会場として本校実習室を提供し、本校学生多数の応援も得て無事終了しました。
- (3) 通信教育事業
通信教育 3 コースについては統計数値を中心にテキストを一部リニューアルし、3 コース合わせて 208 名 (昨年度 163 名) が修了しました。
- (4) 資格認証事業
- ① 食肉処理製造技術 (部分肉) については、豚部分肉マイスター 15 名、累

計で 210 名、牛部分肉マイスター12 名、累計で 101 名、牛豚 1 級 9 名 2 級 4 名が合格しました。

- ② 外国人技能実習制度については、今年度の新たな入国がほぼゼロだったため、牛豚部分肉製造作業の初級試験（1 年目）は減少しましたが、専門級試験（3 年目）が大きく増加し、合計で過去最高の 1,323 名が合格しました。累計合格者は 5,232 名です。

一方、牛豚精肉製造作業については、農水省、業界団体、外国人技能実習機構（OTIT）と連携して厚生労働省へ申請しました。10 月の専門家会議を受けて追加の作業を継続実施中です。

- ③ 第 8 回食品衛生管理者登録講習会は 30 名の受講生が修了しました。累計修了者は 348 名となりました。
- ④ 食肉販売技術管理士合格者は 12 名、累計合格者は 316 名となりました。
- ⑤ 第 10 回お肉検定については、CBT（Computer Based Testing）方式で実施し、1,313 名が受検し 1 級 2 級合わせて 681 名が合格しました。累計の受検者は 14,571 名、合格者は 1 級 2 級合わせて 8,553 名となりました。新型コロナ対策として 1 級講習会は実施しませんでした。

2. 運営重点実施策

（1）教育指導体制・組織運営体制の充実

- ①職員 1 名がハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定 1 級に合格しました。
- ②職員 1 名が公益会計 2 級に合格しました。
- ③職員 1 名がメンタルケア心理士資格を取得しました。
- ④総務部職員 1 名が講師として実習に参加し、1 名が実習原材料等の受渡業務に従事することで、教務部専任講師の業務負担を軽減しました。
- ⑤毎月の職員会議でリスク管理研修を実施しました。

（2）経営基盤の確立

- ①満期保有目的化した債券についてはこれを維持し、平均 1.52%の運用益を得ることができました。
- ②公益会計の 3 基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額の保有制限について、適正処理により遵守しました。

（3）施設管理の徹底と有効利用

①全体

キュービクルの改修、渡り廊下の新設、中庭の石庭化、利根川洪水対策のための校庭一部売却などを実施しました。

②実習室

懸肉レールの更新、空調機の更新、枝肉冷蔵庫冷凍機室外機の効率化、サニタリーの改修などを実施しました。

③調理教室

ブラストチラー、保温器等の新規導入をしました。

(4) 食品安全マネジメントシステムの維持・向上

①実習棟実習室の食肉製品で SQF 第 9 版に基づく 3 回目の再認証審査に合格しました。

②本館実習室について HACCP による管理を実施しました。

(5) 情報発信力の強化

①県民活動支援・広聴課主催の群馬県官民共創基盤強化事業（玉村版）「玉村町の魅力を知って、高めて、発信しよう！」にパネリストとして参加しました。

②「玉村町魅力発信機構」の役員として活動しました。

③農畜産業振興機構発行の「畜産の情報」6月号の「話題」に国連工業開発機関（UNIDO）との取り組みについて寄稿しました。

④上毛新聞の「オピニオン」に 7 回寄稿し、一般読者に食肉についての様々な話題や本校の取り組みなどを紹介しました。

⑤NHK「今日の料理」の担当者から食肉に関する電話相談を 3 回受けて対応しました。

⑥群馬テレビへの情報提供により、総合養成科の感謝祭、卒業記念発表会の取材を受け、ニュースで放映されました。

(6) 社会への貢献

①実習後原材料を「玉村町フードバンク」「こども食堂」に提供しました。

②本校ベーコンの玉村町学校給食への提供日に合わせて、小中学校での出前食育授業を実施しました。

③プロ女子サッカーチーム「Grano 伊勢崎 SC」の練習場として、本校グラウンドを提供しました。

3. 単年度収支

(1) 今年度の経営は、経常収益は 256,909 千円、経常費用が 265,895 千円となり、評価損益等調整前当期経常増減額は△8,986 千円と、計画を 19,759 千円、前年を 25,413 千円上回りました（計画△28,745 千円、前年度△34,399 千円）。

(2) 事業区分毎の収益を見ると、教育訓練が 65,403 千円と（前年度 68,307 千円）学生数減により減少しました。教育研修は企業提携研修が増加し 36,060 千円（同 23,473 千円）、資格付与はマイスター受検者、外国人技能実習試験増により大きく増加し 47,416（同 40,172 千円）、食品衛生管理者講習会は受講生が減少し 8,404 千円（同 11,192 千円）、特定資産運用益、受取会費を除く実質的な公益目的事業収益は 190,107 千円（同 162,160 千円）

- 円)と昨年度を27,947千円上回りました。
- (3) 利根川洪水対策のための校庭一部売却により経常外増減額が18,161千円となり、当期一般正味財産増減額は7,620千円、正味財産期末残高は261,660千円となりました。
- (4) 公益認定法第5条第8号および第15条に規定される公益法人としての基本的な要件である公益目的事業比率は、87.9%となり、基準の50%を上回りました。

II. 関係資料

1. 教育訓練事業

(1) 入学・卒業期日

科	入学期日	卒業期日
総合養成科 1年コース	4月 6日	3月 4日
総合養成科 前期コース	4月 6日	9月 30日
食肉販売科	4月 6日	7月 2日

(2) 入学・卒業・修了生数

(単位:名)

区分		科	総合養成科		食肉販売科	合計
			1年コース	前期コース		
本 年 度	入 学 身	入 学 生 数	19	5	13	37
		会 員 ・ 同 出 資 企 業	0	1	9	10
		食 肉 関 連 企 業	0	2	3	5
		食肉専門店等後継者	19	2	1	22
		一 般	0	0	0	0
		海 外	0	0	0	0
	コース変更・退学	△2	1	0	△1	
	卒 業 生 数	17	6	13	36	
累 計 卒 業 生 数		1,798	97	603	2,608	

- (注) 1. 累計の合計は、開校以来の合計数である(食肉加工科110名を含む)。
 2. 累計には修了生は含まない(1年:11名、前期:37名、計48名)。
 3. 会員・同出資企業とは、会員及び会員が出資している企業(子会社等)

(3) 修学時間数

(単位:時間)

科	区分	学 科		実 技			計	
		前期	後期	前期 (校内)	後期			
					(校内)	(校外)		計
総合養成科	R3年度	356.5	131.5	494.5	159.0	560.0	719.0	1701.5
	R2年度	322.5	136.5	503.5	161.0	560.0	721.0	1683.5
前期コース	R3年度	356.5		537.5			537.5	894.0
	R2年度	322.5		546.5			546.5	869.0
食肉販売科	R3年度	212.5		246.0			246.0	458.5
	R2年度	175.0		270.5			270.5	445.5

(注) 1. 食肉販売科の校外実習 () は選択制である。

2. 教育研修事業

(1) FMAセミナー

	日程		講座名	定員	参加者
基礎	1	6/11	食肉加工品の基礎知識半日セミナー【オンライン】	50	14
	2	6/11	食肉の基礎知識半日セミナー【オンライン】	50	58
	3	10/15	食肉の原価計算基礎から応用セミナー	20	6
	4	8/19~21	食肉基礎セミナーⅠ(加工品編)①	20	14
		10/11~13	食肉基礎セミナーⅠ(加工品編)②	20	3
	5	8/23~25	食肉基礎セミナーⅡ(牛肉編)①	20	12
		10/4~6	食肉基礎セミナーⅡ(牛肉編)②	20	11
	6	8/31~9/2	食肉基礎セミナーⅢ(豚肉編)①	20	9
		10/11~13	食肉基礎セミナーⅢ(豚肉編)②	20	13
	7	中止	食肉基礎セミナーⅣ(内臓肉編)	20	-
8	10/14	食肉基礎セミナーⅤ(食鳥肉編)	20	10	
9	10/19~20	食肉販促セミナーⅠ(輸入と国産の比較)	20	10	
10	10/21~22	食肉販促セミナーⅡ(牛肉小割部位と食べ比べ)	20	5	
公開 授業	1	5/6~11	豚部分肉加工技術者研修(5/12~19中止)	5	2
	2	9/7~10	牛部分肉加工技術者研修	5	3
	3	9/7~10	加工品技術者研修	5	3
応用	1	2/8~10	ジビエ基礎セミナー	20	3
技能 検定	1	10/28	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【1級】	20	3
	2	10/29	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【2級】	20	4
資格	1	1/18~27	食肉販売技術管理士技能講習会(公開講座)	5	-
宿泊	1	3/14~18	食肉業界人育成研修	20	6
計				420	189

(2) 企業提携研修

月	法人名
4	ポリテクセンター群馬(オルビス)、JBS JAPAN(株)、JA 全農いしかわ
5	カナダポークインターナショナル、ポリテクセンター群馬(オルビス)
6	ポリテクセンター群馬(オルビス)、(有)中村牧場、日本メイプルリーフフーズ(株)、スターゼン(株)、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会
7	JA 全農ミートフーズ(株)、群馬県立女子大学、ポリテクセンター群馬(オルビス)、農林水産省、九州管内系統食肉センター協議会、(一社)たまむら住民活動支援センター、高崎健康福祉大学
8	(株)いわちく、JBS JAPAN(株)、ポリテクセンター群馬(オルビス)、日本畜産振興(株)、スターゼンミートプロセッサ(株)、カナダポークインターナショナル
9	ポリテクセンター群馬(桐栗食 9 回)、兵庫県食肉卸事業協同組合(2 回)、(有)中村牧場、JBS JAPAN(株)、飛騨ミート農業協同組合連合会、新田暁高等学校、
10	ブラボーワークス(株)、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、日本ハム(株)、(株)田子重、ポリテクセンター群馬(桐群馬県食肉卸売市場 1 回、オープンセミナー1 回)、JA 全農、九州管内系統食肉センター協議会、JBS JAPAN(株)、伊勢崎興陽高等学校、カナダビーフ国際機構
11	(株)田子重、ポリテクセンター群馬(オープンセミナー)、日本メイプルリーフフーズ(株)、伊勢崎興陽高等学校、(公社)日本食肉格付協会、カナダビーフ国際機構(3 回)、(株)平和堂、日本ハム(株)、安中総合学園高等学校、大泉高校、JBS JAPAN(株)、勢多農林高等学校、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、ポリテクセンター鹿児島、(一社)たまむら住民活動支援センター、(独)農畜産業振興機構
12	(株)田子重、カナダビーフ国際機構(3 回)、藤岡北高校、大泉高校、(株)平和堂、勢多農林高等学校、ポリテクセンター鹿児島、吾妻中央高校、(株)JTB、
1	JA 全農ミートフーズ(株)、(株)JA 食肉かごしま、(株)キャンパスクリエイト、ポリテクセンター群馬(桐群馬県食肉卸売市場 3 回)
2	(株)ゴールド・ヘル、(株)ミヤチク、(有)中村牧場、日本ハム・ソーセージ工業協同組合、ポリテクセンター群馬(桐群馬県食肉卸売市場 3 回、オープンセミナー1 回)、飛騨ミート農業協同組合連合会、全国食肉センター協議会、JBS JAPAN(株)(2 回)、長崎県、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会
3	ポリテクセンター群馬(桐群馬県食肉卸売市場 3 回)、(公社)群馬栄養士会、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、神奈川県食肉業務用卸事業協同組合、首都圏卸売業者協同組合、兼松(株)、JA 全農ミートフーズ(株)
合計	実施企業数 48 法人 実施回数 107 回

3. 通信教育事業

(1) コース別受講生

(単位：名、%)

コース名		定員	受講者	修了者	修了率
食肉流通業務実践コース	R3年度	200	125	115	92.0
	R2年度		90	82	91.1
食肉の原価計数管理コース	R3年度	100	52	45	86.5
	R2年度		51	44	86.3
食肉関連法規コース	R3年度	100	55	48	87.3
	R2年度		38	37	97.4
計	R3年度	400	232	208	89.7
	R2年度		179	163	91.1

4. 資格認証事業

(1) 食肉販売技術管理士認定試験

(単位：名、%)

	受検者	合格者	合格率
学生	17	12	70.6
外部	0	0	-
計	17	12	70.6

(2) 豚部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受検者	合格者	合格率
22	15	68.2

(3) 牛部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受検者	合格者	合格率
17	12	70.6

(4) 豚部分肉製造1級・2級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受検者	合格者	合格率
1級	8	8	100.0
2級	4	4	100.0

(5) 牛豚部分肉製造1級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受検者	合格者	合格率
1級	1	1	100.0

(6) 外国人技能実習評価試験（牛豚部分肉製造作業）

(単位：名、%)

	受検者	合格者	合格率
初級	469	468	99.8
専門級	824	803	97.5
上級	56	52	92.9

(7) 食品衛生管理者登録講習会

(単位：名、%)

受講者	修了者	修了率
30	30	100.0

5. お肉検定

(単位：名、%)

受検級	応募者	受検者	合格者	合格率
1級	1,121	1,073	498	46.4
2級	257	240	183	76.3
計	1,378	1,313	681	51.9

6. 学生の表彰

(1) 学校長賞

賞	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
優秀賞	広 沢 海 飛 新里 真奈美 草 野 新	黒 田 大 貴 吉 武 佑 記 吉 澤 鴻 志	横 手 翔 太 朴 貴 大 石 川 圭 太
優良賞	徳 山 貴 哉 前 田 康 喜	横 田 譲 司	伊 藤 静 真 大 上 拓 美
技能賞	大 石 和 基		
努力賞	河 井 健 志 渋 谷 恭 英		三 枝 弦 入 竹 越 大 貴

(2) 褒賞

褒 賞 名	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
農林水産省畜産局長賞	広 沢 海 飛	黒 田 大 貴	横 手 翔 太
群馬県知事賞	新里 真奈美	吉 武 佑 記	朴 貴 大
(独)農畜産業振興機構理事長賞	草 野 新	吉 澤 鴻 志	石 川 圭 太
群馬県職業能力開発協会会長賞	徳 山 貴 哉 前 田 康 喜	横 田 譲 司	伊 藤 静 真 大 上 拓 美

Ⅲ. 主な報告事項

1. 会員の異動

	期首	入会	脱退	期末
会員	23	0	0	23

2. 役員の異動

区分	期首	辞任・退任	就任	期末
常勤理事	2	1	0	1
非常勤理事	10	2	3	11
監事	2	1	1	2
計	14	4	4	14

(1) 就任

理事

爲井 清文 (農林中央金庫食農法人営業本部営業第二部部长) 令和3年6月16日
高橋 龍彦 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部部长) 令和3年8月5日
富田 孝 (公益社団法人群馬県畜産協会専務理事) 令和3年8月5日

監事

佐藤 勳 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長) 令和3年8月5日

(2) 辞任

理事

小林 茂雄 (前全国農業協同組合連合会畜産総合対策部部长) 令和3年8月5日
糸井 浩 (前公益社団法人群馬県畜産協会専務理事) 令和3年8月5日

監事

高橋 龍彦 (前全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長) 令和3年8月5日

(3) 退任(任期満了)

専務理事

重松 幸正 (学識経験者)

令和3年6月16日

(4) 昇任

専務理事

小原 和仁 (学識経験者・前常務理事)

令和3年6月16日

3. 学校運営委員会委員の異動

	期首	辞任	就任	期末
運営委員	7	2	2	7

(1) 就任

菅谷 公平 (独立行政法人農畜産業振興機構畜産振興部部长)

令和3年4月1日

佐藤 勲 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長)

令和3年7月26日

(2) 辞任

藤島 博康 (前独立行政法人農畜産業振興機構畜産振興部部长)

令和3年4月1日

高橋 龍彦 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部部长)

令和3年7月26日

4. 職員の異動

区分	増減		期首			増			減			期末		
	性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総務部	3	5	8	0	0	0	0	1	1	3	4	7		
教務部	8	0	8	0	0	0	0	0	0	8	0	8		
計	11	5	16	0	0	0	0	1	1	11	4	15		

(1) 採用 なし

(2) 退職

松尾 淳子

令和4年3月31日

5. 主要業務・行事等

月	日	事 項
4	1 6 30	令和4年度学生募集・受付開始 総合養成科第57期生・食肉販売科第32期生入学式 令和2年度事業監査(業務・会計)
5	1 25	令和3年度通信教育講座開講(実践・原価・法規・3コース) 第1回理事会(第1回定時総会上程議案の付議他)
6	16 27	定時総会(令和2年度事業報告他) 第2回理事会(代表理事理事長、副理事長、専務理事互選) 食肉販売科卒業記念感謝祭
7	2 20 28	食肉販売科第32期生卒業式 第3回理事会(第1回臨時総会上程議案の付議他) 第1・四半期監事監査
8	5	第1回臨時総会(理事・監事補欠選任)
9	23 30	総合養成科前期コース卒業記念感謝祭 総合養成科前期コース卒業式
10	29	第2・四半期監事監査
11	16 28	第4回理事会(上半期執行状況報告) 創立記念日(創立48年)
1	25 31	第3・四半期監事監査 食品衛生管理者登録講習会(1/31~3/3)
2	4 27	技能照査試験 卒業記念感謝祭
3	3 16 17	総合養成科第57期生卒業式 第5回理事会(令和4年度事業計画書・予算他) 学校運営委員会(web開催)